

令和3年度 公益財団法人瀬戸市文化振興財団 企画展

文明開化とせとやき

— 近代前期の瀬戸窯と美濃窯 —



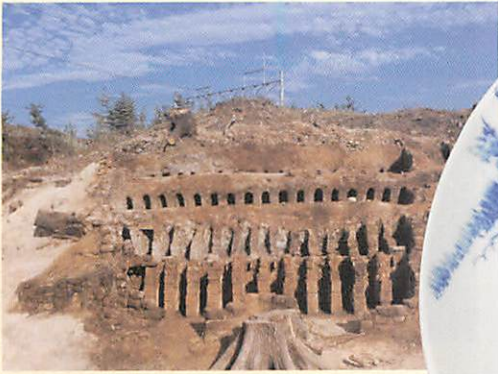
染付大皿(瀬戸焼)明治11年-瀬戸市蔵



染付皿(美濃焼)明治23年-個人蔵



呉州赤絵写徳利(甲山焼)明治5~25年-愛知県陶磁美術館蔵
(鈴木克明氏寄贈)



赤重窯跡全景

観覧無料

※同時開催の愛知県陶磁美術館内の他の展示へは、別途観覧料が必要です。

令和3年 10月16日(土)~12月5日(日)

会場/愛知県陶磁美術館 本館1階 ギャラリー 休館日/月曜日

開館時間/午前9時30分~午後4時30分 ※入館は午後4時まで

主催/公益財団法人瀬戸市文化振興財団 共催/愛知県陶磁美術館

ご来館の皆様へ

- 発熱や風邪症状のある方、体調のすぐれない方は、ご来館をお控えください。
- マスク着用をはじめとした咳エチケットの励行をお願いします。
- 後日、新型コロナウイルスに感染した方の来館が判明した場合に備え、ご連絡先のご記入をお願いします。

- 団体でのご利用は事前に公益財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センターまでご相談ください。
- 展示室ではソーシャルディスタンスに気を付け、他の方との距離を2m以上あけてご覧ください。

皆様のご来館をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



染付鉢 (瀬戸焼：川本拵吉・作)
明治8年 瀬戸市蔵



青磁皿 (美濃焼)
明治10～20年代 品川区教育委員会蔵



呉州赤絵写鉢 (甲山焼)
明治5～25年 愛知県陶磁美術館蔵
(鈴木克明氏寄贈)

公益財団法人瀬戸市文化振興財団は、その前身である(財)瀬戸市埋蔵文化財センターが設立された平成4年から、瀬戸窯を中心とした陶磁器の生産と流通について考古学的な調査・研究と普及啓発活動を進めてまいりました。その中でも、普及啓発活動については、毎年1回の企画展を欠かすことなく開催しており、今年度をもってちょうど30回目となります。企画展では、瀬戸窯の陶磁史をもとに「中世・大窯(戦国・織豊期)・江戸時代・近代」という4つの時代に分け、時代ごとに総合テーマを設定し、それぞれ複数年にわたって開催するという形式をとってまいりました。このように、時代を追って具体的にみていくことにより、「せとやき」の歴史的な変遷や意義をより深く理解していただけたものと考えております。

令和3年度からは、4つの時代の最後、「近代」を取り上げます。その第1回目として、本展覧会では、近代前期、19世紀末までを対象とします。幕末の開国により、欧米の技術・文化が日本に流れ込んできました。明治時代に入り、新政府の殖産興業政策がそれに拍車をかけます。また、万国博覧会への参加により、せとやきなどの日本の陶磁器が注目を集め、海外輸出が盛んになっていきます。そのため、瀬戸窯では、輸出用として無文の磁器(白磁)が大量に作られるようになりました。また、染付製品においても、酸化コバルト呉須の輸入や銅版転写による施文など、量産化に向けて急激な舵取りを行っています。このような生産状況を、発掘調査の成果をもとに表します。また、同時期における美濃窯や周辺諸窯の生産体制についてもみていきます。さらに、これらの製品の国内における流通・消費状況についても合わせて概観します。



染付大皿 (瀬戸焼)
明治20年 瀬戸市蔵

歴史講演会 ※申込不要、参加無料

『現代につながる明治のやきもの生産』

—町ごとのオリジナル商品の確立—

講師 中嶋 茂氏 (公益財団法人土岐市文化振興事業団)

日時 令和3年11月21日(日) 午後1時30分から3時まで

会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階講堂

定員 100名

展覧会ワンポイントレクチャー ※申込不要、参加無料

日時 令和3年11月21日(日) 午前10時30分から11時30分まで

会場 愛知県陶磁美術館 展示説明室

定員 20名

愛知県陶磁美術館展覧会情報 ※要観覧料

令和3年10月9日(土)～12月12日(日)

特別展「華*花—四季の花と中国陶磁史—」

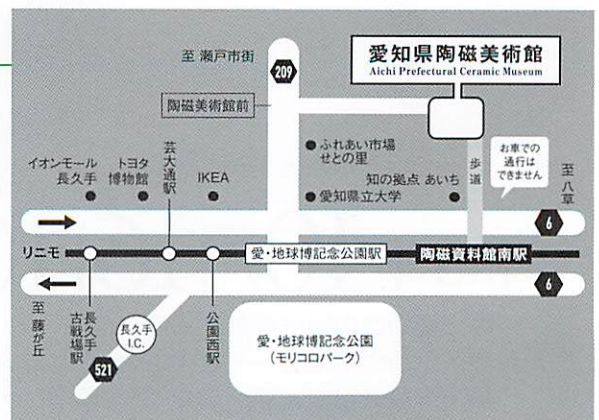
アクセス

公共交通機関

地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝日のみ)/愛知環状鉄道「八草」下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m

自家用車(駐車場無料・250台収容・大型バス9台収容)

東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から足助・瀬戸方面に約5km/東名高速道路「名古屋IC」・名二環道「本郷IC」から瀬戸・長久手・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から国道248号線豊田方面に約7km



【展示・講演会等のお問合せ先】

公益財団法人瀬戸市文化振興財団 埋蔵文化財センター
TEL(0561)21-1951